科目名	法学の最前線　　Introduction to Law						
科目担当者	田中 保通　　TANAKA Yasumichi						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科［専門教育科目　基礎専門科目］ 他学部他学科履修×					ディプロマポリシーとの関連	(1) (2)
授業の概要	大学では高校までの学習とは異なり、学生が自ら課題を発見し、研究を進めていきます。そのために必要な基礎知識を修得し、実際に専門教員が行っている研究がどのようなものであるかを知ることで、今後の大学での専門研究への橋渡しを行います。 具体的には、法学部の担当教員がそれぞれ一回ずつ講義を担当し、現代社会が抱える諸問題を取り上げ、又は各専門分野のトピックを通じて、学生が自分の研究テーマを発見するための基礎知識を修得してもらいます。						
授業の到達目標	①　各担当教員の専門分野に関する最新の社会状況や研究成果を踏まえつつ、「法学」等の学問が社会の多方面に関わることや社会の諸問題の解決に有用であることを理解する。 ②　専門演習Ⅲにおいて卒業論文を執筆するにあたり、研究テーマ設定のために必要な視点や基礎知識を習得する。						

授業計画・内容		
	1	オリエンテーション
	2	刑事法の諸問題
	3	民事法の諸問題
	4	政治学の諸問題
	5	商法の諸問題
	6	憲法の諸問題
	7	民事法の諸問題
	8	民事法の諸問題
	9	地方自治の諸問題
	10	憲法の諸問題
	11	行政法の諸問題
	12	民事法の諸問題
	13	労働法の諸問題
	14	刑事法の諸問題
	15	社会学の諸問題　まとめ

授業外学修 (事前学修)	講義のタイトルからその分野の文献を手にとって読んでみる。興味のある内容をノート等にまとめておく（毎週 2 時間程度)。		
授業外学修 (事後学修)	講義の内容を振り返り、疑問点がある場合には図書館等に足を運び文献等を使って調べる（毎週 2 時間程度）。		
成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	小テスト（講義内）	100%	①、②
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合		
教科書	特にありません。		
参考文献	必要に応じて指示します。		
その他	毎回必ず出席して下さい。なお、講義担当者の順番及びタイトルは変更する場合があります。		